

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)12月5日 No. 1144

目次

ロシア下院選挙戦の現状と結果予想.....	音羽 周 1
旧ソ連・東欧貿易商況(1999年10月).....	7
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	11

ロシア下院選挙戦の現状と結果予想

ロシア下院選について ロシア連邦議会・国家会議(下院)選挙の投票日(12月19日)が近づいている。今回の下院選はロシアになってから、3度目の選挙となる。1993年の下院選では、民族主義者のジリノスキー率いる自由民主党がブームを巻き起こし、1995年にはロシア共産党が圧勝した(第1回)。今回の下院選挙では、どういう結果が出るであろうか。以下、終盤を迎えた選挙情勢を紹介し、選挙結果を予想してみる。

1. 選挙戦の意義

今回の下院選は以下のような意義を持つと考えられる。

①これまで、ロシアではプリマコフ内閣時を除いて政府と議会が常に対立し、政治・経済の最大の攪乱要因となっていた。そのためには、将来的には議会最大多数の政党から首相が選出され、組閣され、強力な与党体制が確立することが必要となるが、もし中道派が多数を占めれば、この方向へ大きく踏み出すことになる(この場合、憲法の改正が必要だが)。この意味で、中道派の得票結果が注目される。

②下院選の結果は来年に予定されている大統領選の行方を大きく左右すると思われる。「祖国—全ロシア」が伸びた場合にはプリマコフ元首相が、与党「統一」(メドヴェジ)が伸びた場合にはプーチン首相がそれぞれ、大統領選で有利になる。また、この場合、政党を基盤にした大統領候補が選出され、政党間で大統領のポストを争う可能性も展望され、将来に